

健康への

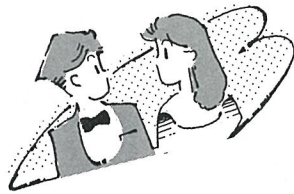
メッセージ

シリーズ⑳

光町の皆さんこんにちは、今回予定を変更させていただきます、番外編として最近よく耳にするエイズについてお話しします。

エイズはこわい病気だといわれますが、なぜそんなにこわいのでしょうか。理由は簡単に現在有効な治療が見つかっていないからです。かつて天然痘、ペスト、日本では結核などのおそろしい病気により、多くの被害がありました。それらの病気を克服する上で重要なことは、その病気のことを一般の人がよく知ることだと思います。難しい治療法は研究所の偉い先生方におまかせして、まずはどんな病気でどう予防したらよいかを理解して下さい。

エイズとはウイルスによって体の免疫力(病原菌をやっつける力)が低下する病気です。ですから普通の状態ではかからない弱いばい菌で病気になるったり、重症になったりします。エイズはウイルス



東陽病院 鈴木健士 医師

が体の中に入ってきて病気が始まるまでにある程度期間があります。一度発病すると治療は困難です。ではどうしたらエイズを予防出来るでしょうか。ワクチンなどは現在ありませんから、ウイルスをもらわない

エイズについて

正しい知識を知ることを

ひとりひとりの自覚で予防できます。

ことが重要です。エイズウイルスは血液、体液を介して体に入りますからそのもとを絶てばいいわけです。ひとつには輸血などの血液製剤です。現在の血液製剤ではきちんと検査が行われていますので、今後は輸血による感染の危険はかなり低いと言えるでしょう。もうひとつは、性行為(セックス)です。同性愛者のセックスが問題視されましたが、男女間のセックスでも感染はあります。多数の相手とセックスをすることは大変危険です。アメリカではフリーセックスを止めろと言っても無駄だと考え、牧師さんが彼らの神聖な場といえる教会でコンドームを配り病気の予防の重要性を訴えるなど危機迫る対応をしています。そしてこれはもはや外国の話ではなく現在の日本でも同様なのです。

そして最後に重要なこととして、この病気は空気や普通の接触ではうつることはありません。同じ鍋をついたり、一緒のお風呂に入ったり、キスをしてても何の問題もありません。患者さんは不幸にしてウイルスをもらってしまった被害者なのです。病気を知らないばかりに偏見を持つたり、差別を受けるようなことがあっては絶対いけないのです。むしろ周囲の人達が温かく支援するようにならないかと思えます。この病気はウイルスの感染する経路ははっきりわかっており、空気感染などはありません。ひとりひとりの自覚で予防出来る病気です。治療法もきつと近い将来に見つかるでしょう。他の病気の時もそうであったように人間の叡智(えいち)は必ずこの病気を克服すると信じます。

サンタクロースって いるんでしょうか?



出版社：偕成社



今から98年前、サンタクロースってほんとにいるんでしょうか?という8才の少女の質問にこたえ、アメリカニューヨーク・サン新聞社が愛情を込めて、味わい深い返事を社説に出したものがこの本です。目には見えない事でも、信じるすばらしさを語った一冊。

ハリーのセーター

出版社：福音館書店



黒いぶちのある白い犬のハリーは、誕生日に、ばらのもよりのセーターをおばあちゃんからもらいましたが、ハリーは気

にりません。セーターを捨てようと思いますが、すべて失敗。ところが、鳥がやって来てセーターをハリーから持っていつてしまいました。ハリーは喜んで鳥の後を追いかけると、セーターは意外なものに変わってしまったのです。

ほんの **森**

＝ 町立図書館 ＝

☎043311



他にもたくさんあります

